



テック パート パネル がCEATEC JAPAN 2007で最も革新的なテクノロジーを選出
ホーム エレクトロニクスの最新技術から「グリーン」テクノロジーの発展まで
技術界のリーダーが構成するパネルが日本で紹介され、今後米国に影響を与える製品を評価

2007年10月5日(サンフランシスコ) - 米国技術界のリーダーで構成されるテック パート パネルがCEATEC JAPAN 2007で最も革新性に優れた12製品を選出します。テック パート パネルは独立した選考委員会として日本貿易振興会(JETRO)サンフランシスコ支部によって発表され、CEATEC JAPAN 2007に出展された数百に及ぶ技術、サービス、製品を視察しました。出展企業の技術の評価はホーム エンターテイメント、モバイル、コンピュータ ネットワーク、自動車などのカテゴリに分かれ、革新性と米国市場に及ぼす影響を基準に行われました。

パネリストのひとりである Switched.com のエディタ、Tom Samiljan 氏は CEATEC JAPAN 2007 について次のように述べています。「研究開発の展示の中には科学博覧会のように見えるものもありますが、それにしても何と素晴らしい「科学博覧会」なのでしょう。1 平方メートル当たりの驚き度合いはこれまで見た展示会の中で最大級です。[CEATEC で]一番魅力を感じたのは、超薄型のフラット パネルと手の動きを認識するインターフェースを利用した東芝の Spurs Engine とパイオニアの 3D ナビゲーション ドライブ システムです。Wii とその動作認識技術によるゲームは米国で成功を収めましたが、テレビや自動車、デスクトップを制御するには奇妙に思えるこの方法こそが、未来のインターフェースが目指す方向を示しています。」

テック パート パネルはCNET Networksの編集委員であるMichael Kanellos氏をリーダーに、Popular Science のSean Captain氏、Envisioneering GroupのアナリストであるRichard Doherty氏、Switched.comのTom Samiljan氏とAuri GroupのAuri Rahimzadeh氏によって構成されています。本年度のCEATEC JAPANに出展された幅広い製品の評価には、次の選択基準が使用されました。

- CEATEC JAPAN 2007 に展示されている技術、製品またはサービスであること
- 米国の市場に対する影響、関連性または潜在的な効果が明らかに存在する技術であること
- テック パート パネルの意見と経験に基づいて、優れた革新性と機能の独自性が確認されていること
- 消費者に使いやすいと認められる技術であること
- 新しいニーズに対して独自のソリューションを提供する技術であること
- エネルギー持続性、代替エネルギーまたはエネルギー効率を改善する技術は特に重視されること

その選択は出展者の申請によらない民主的な方法で行われ、各パネリストが候補となる製品を推薦し、投票によって最終選考のグループが決定されました。CEATEC JAPAN 2007 で革新的な技術の上位に選出されるには5票のうちの3票が必要です。すべての技術カテゴリが等しく検討され、パネリストが上記の基準に基づいて最終投票した結果、次に挙げる12製品が選ばれました。

パネリストの Michael Kanellos 氏は CEATEC JAPAN 2007 の出展者について次のように述べています。「今回の展示会で紹介された革新的な製品の中でも東芝が最も印象的でした。同社のコンポーネントと他の技術が将来どのように消費者に利用されるかが具体的に示され、「処理量とスピード」とらわれない発想によって多くの目標を達成しています。」。また、同氏は JVC については次のように述べています。「JVC も印象的でした。同社は米国ではあまり注目されていませんが、独自のアイデアで個性的な製品を作り出し、製品開発にも力を入れています。」

米国のテック パート パネルは CEATEC JAPAN 2007 に出展した以下の企業の革新性と技術市場への貢献を正式に承認しました。

日産の安全と環境のための技術

日産は通常の自動車の開発では考慮されない次元に目を向けて開発を行っています。それは、車の以外の次元です。同社は「アラウンド ビュー モニタ」や「ディスタンス コントロール アシスト」など、最新の ITS とエレクトロニクス技術のデモを行うだけでなく、安全で環境に優しい運転に導く製品のデザインについても説明していました。日産は事故の防止、燃料効率の向上、温室効果ガスの削減を目標に、トラフィック パターンや車間距離を分析する方法を研究しています。また、これらの技術を消費者に受け入れてもらい、常時利用してもらうための方法も重要な課題にしています。 - Michael Kanellos 氏 (CNET Networks 編集委員)

Field Emission Technologies のナノ スピント型 FED (フィールド エミッション ディスプレイ)

ソニーのスピナウトである同社は、20 インチ高解像度ディスプレイのプロトタイプを初めて展示しました。このプロトタイプは暗い画像ではわずか 5 ワット、最も明るい画像 (すべてのピクセルを使用) でも一般的な LCD より低消費電力を特長としています。薄型で発色とエネルギー効率に優れた FED が商品化されれば、品質重視の放送業者はもちろん、サイズとエネルギー効率でも消費者の注目を集めることでしょう。その毎秒 240 フレームという驚異的な処理量は、フラット パネルのビデオ ディスプレイの中でも最高の速さを誇っています。 - Richard Doherty 氏 (Envisioneering Group の業界アナリスト)

パイオニアの画像認識カーナビ システム

パイオニアのプロトタイプは自動車の運転を可能な限り安全かつ簡単にするため、あらゆる技術を統合しています。道路の混雑やドライバーの注意力の低下が顕著なときに効果を発揮します。このシステムは従来の GPS ナビゲーションに加え、カメラと道路分析用の高度な画像認識ソフトウェアで構成されています。このライブ ビデオには死角になる曲がり角を指摘する矢印や隣の車との距離 (近づきすぎたら警告を表示) など、さまざまな表示機能があります。また、ただ運転するだけでなく運転を楽しむために、画像認識システムを利用した視野のスキャン、風景の識別、見所の多いルートの提案などの機能も備えています。これらの機能を体験したら、実用本位の現在の GPS システムを利用する気にはなりません。 Sean Captain 氏 (Popular Science)

NTT DoCoMo のウェルネスホン

NTT DoCoMo のウェルネスホンは健康情報のセンサと一般的なソフトウェア アプリケーションを搭載したオールインワンのコンセプトに基づく電話機で、米国の健康ブームを象徴する製品になるかもしれません。この携帯電話には心拍数モニタ、消費カロリー カウンター、体脂肪率計算機、呼吸解析器が組み込まれ、年齢、性別、身長、体重に基づいて測定されます。測定した値はサーバーに送信されるため、消費者が変化を簡単に確認できるだけでなく、医療関係者と情報を共有できます。ウェルネスホンは口臭予防機能だけにとどまらず、携帯電話を利用した健康情報サービスに大きな可能性を開くかもしれません。 Auri Rahimzadeh 氏 (The Auri Group)

1LTD の Beam2Me®

1LTD は放射音の指向性を制御する Beam2Me®のデモを行いました。Beam2Me®は消費者がオーディオを楽しむ方法を大きく変えることのできる技術です。CEATEC のデモではリビングルーム環境を再現し、カップルが同じソファに座って、それぞれ異なるテレビ番組を楽しむところを実演しました。消費者はヘッドホンを使用せずに、それぞれが見ている番組の音に妨害されることなく、それぞれの番組を楽しむことができます。家庭、ゲーム、自動車、会議を含むさまざまな環境での利用が考えられ、異なる指向性でオーディオを利用できれば、個人的な娯楽を好むアメリカ人にとって無限の可能性がります。 Auri Rahimzadeh 氏 (The Auri Group)

JVC の LED バックライト液晶ディスプレイ テレビ

フラット パネル テレビは現在でも米国で最も人気がある技術製品の 1 つです。また、大きければ大きいほどいいと考えるユーザーが大半を占める一方で、品質も重要視されるようになってきました。JVC はハイコントラストとハイカラーを両立した新製品で、このようなニーズに最適な性能を目指しています。発光ダイオードをバックライトに採用することで、水銀を使用せずに(多くのフラット パネルで蛍光バックライトに使用)優れたエネルギー効率を実現しています。日本の調光技術を駆使して LED の 128 のクラスを個別に調整することで、約 100,000 対 1 の最高レベルのコントラスト比を実現し、画像に奥行きと繊細さを加えています。また、他のハイ コントラスト パネルでは白色 LED を使用していますが、JVC では代わりにクラスタまたは赤、緑、青の LED を使用して色域を旧 NTSC カラー標準の 116%にまで拡大しています。ハイコントラストかハイカラーのいずれかに対応している企業はありますが、JVC はその両方を実現した最初の企業です。 Sean Captain 氏 (Popular Science)

NEC の FieldAnalyst による年齢と性別の識別

これは、最も話題になった製品です。FieldAnalyst は 10,000 の顔のデータベースを使用して、カメラからのビデオ フィードを分析し、通過する人々の年齢と性別を識別するソフトウェアプログラムです。その発想は、ショッピング センターなどの公共の場所で歩行者をベースにマーケティングのターゲットを効果的に絞り込むために、受動的な分析で顧客に関する詳細な情報を入手することにあります。受動的な分析は米国の新設企業の間で話題になっていますが、あるパネリストはパフォーマンスだけではなく、プライバシーとセキュリティとの関係についても懸念していました。それに対して、トラフィック パターン分析のユニークな応用と考えるパネリストもいました。いずれにしても、楽しいデモでした。 - Michael Kanellos 氏 (CNET Networks 編集委員)

シャープの組込型光センサ付きシステム LCD モジュール

iPhone ユーザーに対応するため、シャープでは電話やその他のデバイスを指先ひとつで制御するタッチスクリーンを展示しています(実際には 3 本の指が必要です)。ユーザーは軽く触れるだけで画像のサイズを縮小、拡大および上下左右にスクロールできます。3 本以上の指を使えば、さらに豊富な機能を利用できます。ジェスチャー認識技術は今年の CEATEC の主題であり、今後ジェスチャーはデータ入力やデバイス管理でも重要な手段になることが期待されています。 Michael Kanellos 氏 (CNET Networks 編集委員)

Sony の Rolly

一見、実用的には見えない Rolly ですが、その独創性と遊び心、なめらかな動きには誰もが感心しています。Rolly は、その生みの親であるソニーを有名にしたオーディオとロボット工学という 2 つの技術によるもので、ダンス音楽プレーヤーという発想は、日本の研究開発部門ならではの創造性と心の豊かさから生まれています。また、見た目も優雅でその小さなサイズを考えると音質的にも優れています。Rolly は「日本ならではの」のデバイスですが、正しいマーケティングの考え方にに基づき、価格の大幅な低下を考慮すると、2008 年には、あの「たまごっち」のように米国で流行する可能性は十分にあります。確かに風変わりで、これまで必要だと思ったこともないのに、1 度

手にしたら、Rolly なしでは生活できなくなるかもしれません。 Tom Samiljan 氏 (Switched.com)

日立のブルーレイ対応ビデオカメラ (DZ-BD7H と DZ-BD70A)

高品位ビデオ技術が米国でブームになっているのは、ハリウッドのメディア産業による受動的な消費だけではなく、アマチュア クリエーターのおかげでもあります。米国ではさまざまな高解像度ビデオカメラが販売されていますが、それらは磁気テープやミニ DVD などの時代遅れのメディアを使用します。日立はブルーレイ ディスクドライブを搭載した世界初のビデオカメラでホーム ムービーに HD の時代を開きました。ビルトインの編集ツールを使用すると作成から編集、再生までがシームレスにリンクされ、画像処理のためにコンピュータに移動せずに家庭用テレビですべての作業が行えます。また、日立はブルーレイ レコーダーを追加したわけではありません。新しい低消費電力の画像センサとエネルギー効率に優れたドライブを使用して、コンパクトなデザインで 80 分の寿命を持つ便利なバッテリーも開発しています。DZ-BD7H にハード ドライブを搭載することで、究極のビデオカメラとして、携帯/固定のいずれのメディアでも録画でき、ブルーレイでも標準の DVD ディスクでも配布用のコピーを作成できます。 Sean Captain 氏 (Popular Science)

パナソニックと東芝の DVD メディアへの高品位録画

リアルタイムで通信、衛星、ケーブルの MPEG2 ストリームを H.264 (MPEG4) ファイルに三分の一から半分のサイズで変換するエネルギー効率に優れた強力なトランスコーディング チップを使用して、パナソニックと東芝は青色/赤色レーザーHD レコーダーのプロトタイプ (HDD 内蔵) のデモを行いました。このプロトタイプでは HD のプログラムで安価な赤色レーザーDVD メディアにアーカイブを作成できます。最大 2 時間分の HD を DVD 記録ディスクに、6 時間分 (東芝) と 9 時間から 18 時間分 (パナソニック) を青色レーザー ディスクに保存できます。数日前に DVD フォーラムで HD 「赤色レーザー」による経済的な DVD 録画が承認されたのを受けて、両社は消費者向けの洗練された強力なプロトタイプを紹介しています。以前は、高パフォーマンスのトランスコーディングには大量の機材が必要でした。 - Richard Doherty 氏 (Envisioneering Group の業界アナリスト)

東芝の SpursEngine 高性能ストリーム プロセッサ

2 年前の CEATEC で東芝は初めて、PS3 ではなく Cell プロセッサを使用したコンピュータ プログラミングのプロトタイプを出展しました。現在、ハードウェアだけでなく第三者製の何ダースものソフトウェア ツールや環境で Cell エンジンの並列化による出力と速度は利用されていますが、Spurs は PC だけでなく、将来的には CE 製品と連携して自然な映像を提供します。リアルタイムの化粧とワードローブの表示、数百のテレビ番組と音源の同時処理など、SpursEngine のパートナーがリアルタイムのストリーミングを使用した強力で操作性に優れた製品を開発することで、東芝の AVC コプロセッサの需要も促進されるでしょう。 - Richard Doherty 氏 (Envisioneering Group の業界アナリスト)

富士通の海外来場者対応の素晴らしさと言語のサポートに対する特別評価

CEATEC では海外からの参加者が急増しているため、出展企業にとって海外からの参加者に製品や技術のデモを理解してもらうための情報を提供することは重要です。テック パート パネルでは CEATEC JAPAN 2007 における資料、ブースの人材、グラフを使った説明で最高レベルの翻訳サービスを提供してくれた富士通に対して感謝の意を表します。

パネリストによると、CEATEC JAPAN 2007 では他にはない独自の体験ができたそうです。Envisioneering Group のアナリスト、Richard Doherty 氏はいかにも CEATEC らしいブースを取り上げて、次のように説明しています。「NHK は誰もが知っているのもので、そのブースの前を横切る参加者は笑顔になりました。JEITA と NHK 共同の「Power of Television Broadcasting (体感！デジタル放送わくわく生活館)」のブースでは、アナログからデジタルに移行する日本の 50 年以上に及ぶテレビの歴史と最新のフラット パネル HDTV が展示されていました。」

CEATEC JAPAN 2007の終了後、テック パート パネルは、ラスベガスのコンシューマー エレクトロニクス ショー (CES) でCEATECとIFAが主催する会議に参加し、業界の将来に関する意見を交換する予定です。

CEATEC JAPAN 2007の詳細については、<http://www.ceatec.com>を参照してください。

CEATEC JAPAN について

2000年の第1回目以来、毎年開催しているCEATEC (Combined Exhibition of Advanced Technologies) JAPANは、デジタル社会の基盤となる最新の技術、製品、サービスが一堂に会するイベントです。CEATEC JAPANは開催のたびに「最先端のITとエレクトロニクスの総合的な展示会」としての評価を高めています。

お問合せ先:

CEATEC JAPAN 担当 Julie Law
Grace Kang
+1 310 526 5505
jlaw@gcigroup.com

CEATEC JAPAN 担当
GCI Group
+1 310 526 5575
gkang@gcigroup.com

JETRO (日本貿易振興会)は日本と海外の相互の貿易と投資を促進する政府系機関です。JETROは米国のメディア関係でCEATECをサポートし、GCIを認定広告宣伝代理店として選任しています。

###